

岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter

vol.11 (2024.1)

子どもの異物誤嚥・窒息について、日本小児科科学会
こどもの生活環境改善委員会から報告がありました。

○教育・保育施設における過去の事例の紹介

①2020年 1歳2か月の男児

給食の際、保育士がりんごとハンバーグを与えた時に泣いて体をのけぞらせ、食べ物を喉に詰まらせた。この施設では、ひとりひとりのペースよりも、時間内に全部食べることが優先されていた実態があった。

②2020年 4歳男児

豆まき中に突然苦しみだし、職員が119番通報した。大豆が気道に詰まったことによる窒息だった。

③2020年 4歳男児

給食で提供されたブドウ(ピオーネ)1粒を食べたところ、急に立ち上がり、苦しそうな様子を見せた。教諭らが男児の背中をたたいてブドウを吐き出させようとしたがでてこず、意識不明のまま搬送。この園では、1.2歳以下の児にはカットして提供していたが、3歳以上の児にはそのまま提供されていた。

④2020年 5歳男児

ダウン症の5歳の男児が、給食に出たミートボールを喉に詰まらせた。顎の力が弱く、食べ物を小さく刻んで提供することにしていたが、好き嫌いが出始めたため食べる意欲を促す目的で刻む前のミートボールを男児に見せ、見守り不足から男児はそのまま口に入れたとしている。

⑤2021年 11歳男児

給食中に米粉パンを喉に詰まらせた。どのように食べていたかは見ていた児童がいなかったため不明。異変に気付いた教師が男児の背中をたたいたり、腹部を突き上げたりして吐かせようとしたが、まもなく意識消失。

○誤嚥・窒息を起こしやすいケース

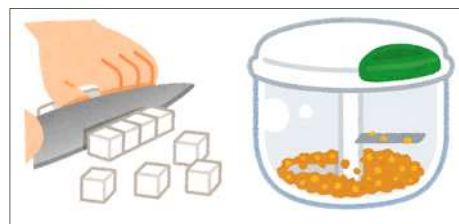


・びっくりしたり、急な動きで詰まる息を大きく吸い込み、口の中の食べ物などがのどに詰まる



・こどもの口に入る4cm以下の物は、こどもの身の回りに置かない

○誤嚥を防ぐためにできること



・野菜や果物は、つぶしたり小さくしましょう



・食べながらあそんだり走ったりしない子どもが食べてるときはそばにいきましょう

利用定員、開設時間等

○利用定員 6人

○対象児童 生後6か月から小学校6年生まで

○利用時間 月～金曜日 午前8時00分～午後5時30分(年末年始、祝日除く)

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階

ますかっと病児保育ルーム

TEL 086-235-7301



ホームページはこちら